

開催：2月24日（月、祝日）、リアル&オンラインのハイブリット開催

住民同士による見守りネットワーク成功事例講演会

地域の支え合いマップづくりから生まれた地域防災・福祉活動とは



本講演会は、関東学院大学防災・減災チームから支え合いに関する好事例の提案・コーディネートにより開催します。

S. 講師陣

・実務講師：小野関 芳美 様（榛東村社会福祉協議会事務局長）

小野関氏は、住民支え合いマップ（概要は裏面参照）の発案者であり推進者として、2007年から携わった地域ネットワーク作りの第一人者です。

発案の原点⇒推進過程⇒成果⇒課題などについて、推進者としての苦勞話しも交えて具体的にお話をいただきます。近所同士における“要援護者”などへの平時のサポートや発災時の支援の在り方などを通じて地域防災&地域福祉とはなにかを学び合ひましょう。

・特別講師：趣旨説明 関東学院大学社会学部 細田 聡教授

S. 開催日時：2025年（令和7年）2月24日（月、祝日）、受付13時

講演会⇒13時30分開演～16時閉演（質疑応答含め）

S. 講演会場：「西金沢コミュニティハウス多目的室（横浜市金沢区釜利谷西4丁目8-1）」

S. 申し込み：右記のQRコードを読み取り「リアル受講」又は「オンライン受講」を選択ください。オンライン受講の方には入室アドレスをメールでお知らせします。共に参加費無料です。



QRでのお申し込みが出来ない場合は、下記にお電話にてお申込みください。

S. 定 員：リアル受講のみ100名（先着）

S. 持 参 品：リアル受講の場合「室内履き」をご持参ください。

S. 問合わせ：関東学院大学社会学部地域連携オフィスコミュニエ

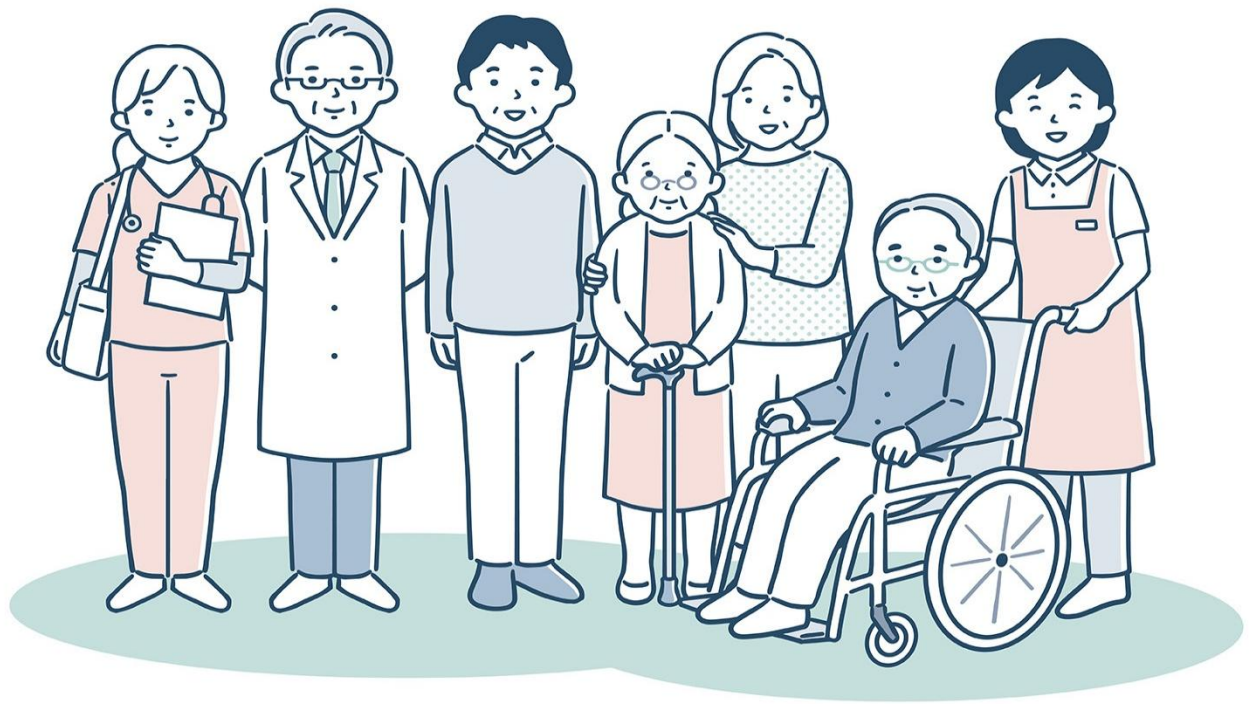
☎374-6553（受付時間：月～金曜日 10時～16時）

Mail: r171181@kanto-gakuin.ac.jp

◎主催：関東学院大学防災・減災研究チーム

◎共催：関ヶ谷自治会、夏山町内会、山の手自治会

【支え合いマップづくりから生まれていく地域活動】



この事業の中心が地域住民の参加により行う「地域支え合いマップづくり」です。^{しんとうむら}榛東村では、各行政区の自治会長、自治会副会長、民生児童委員、消防団員、防災ボランティア、村内福祉施設、JAや学校関係者等毎年200名以上が集い、見守りが必要な避難行動要援護者（以下、「要援護者」という。）の情報を地域ごとに毎年更新しながら、見守り・声掛けや安否確認などを行うことで孤立を予防し、生活を送るなかでの困り事の把握や、緊急事態への対応を図る事業です。

マップづくりは援護者相互の顔の見える関係づくりにも繋がっています。要援護者を誰かひとりではなく地域全体で見守る雰囲気の醸成と共に、参加者が自然と自分事として意見交換している姿を見てマップづくりの「場」が、その話し合いや地元に帰ってからの活動を含めて地域づくりの「場」になっていることを確信しています。



地域住民相互のつながりが希薄化する今日、「支え合いマップづくり」をきっかけに様々な関係団体と連携し、改めて繋がりを構築する地域づくりを進めてきました。この事業推進を通じて村民の「何か地域のために自分ができたい」という強い地域愛を感じます。（一般財団法人 日本防火・防災協会【北から南から】榛東村見守りネットワーク事業～住民支え合いの記事より転載）